



大学の男女共同参画推進について基調講演する  
琉球大学の喜納育江学長（右）、那覇市・ダブ  
ルツリービルトン那覇県境



## 大学で女性進出進まず

### 那覇で男女共同参画フォーラム

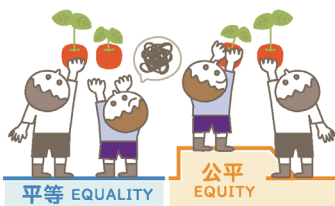
日本医師会が主催する第20回男女共同参画フォーラムが4日、那覇市内で開かれ、全国から医師ら約200人が参加した。テーマは「世代・ジェンダーをこえてちむんぐん」。琉球大学の喜納育江学長が「Diversity推進とこれからの大学」と題して基調講演し「学部」に女性が多くなると、大学院、教授とキャリアが進むにつれ女性の数が減ってしまう」と、大学における女性進出の遅れを指摘した。

（社会部・大川藍）

Diversityとは多様性、公平性、包摂性、帰属意識のこと。一人一人の働きがいや職場への帰属意識を高めることが組織の機能や経営力を高めるとする考え方。琉球大も推進している。

国連開発計画が発表する、国民生活の豊かさを示す「人間開発指数」で日本は24位と上位に位置している。一方、男女平等の度合いを示す世界経済フォーラムの「ジェンダー・ギャップ指数」は18位と低い。喜納学長は「高市早苗政権が発足したが、トップだけ女性になっても、その下に女性が進出していなければ

### 喜納琉大学長「上位職へ登用が重要」



「平等」と「公平」の違いを示すイメージ図。全員を同じく支援する「平等」よりも、必要の人に必要だけ支援する「公平」の方が、結果として社会全体で得られる成果は大きい。

ギャップは縮まらない」とし、「日本はジェンダー後進国だと危機感を示した。85ある国立大のうち、女性学長はわずか4人。私立大を含めても1割台にとどまり、米国の3割、フィンランドの4割と比べると低い。喜納学長は「キャリアの上位にいくほど女性の割合が低く、大学は男性が多い景色になる。歴史が長い分、旧習大ほどその傾向が顕著だ」とした。

女性研究者をサポートする取り組みとして、国は補助金を出して助手を付けるなどしてきているが、「いくら制度的なサポートがあっても、トップが男性ではなかなか理解が進まない」。上位職にどれだけ女性を登用できるかが重要だとして「琉球大の任期中に、いわゆる執行役員のうち割合に女性の教員を入れたい」と話した。

ジェンダーに限らず、多様性を尊重することがインベシジョンに重要だと強調。全員を同じく支援する「平等」ではなく、必要な人を必要だけ支援する「公平」に重きを置くことが、結果として得られる成果も大きくなると説いた。

同日のシンポジウムでは、医師らが医療現場の働き方について意見交換した。日々の業務が忙しく、子どもと関わり合える時間ないかに確保するかが課題だ。「女性医師だけでなく（サポートする）、男性医師の働き方が変われば男女共同参画の近道となる」などの意見が上がった。

会場からは働きやすい職場づくりの工夫として、他の診療科と職員を融通し、働く人員を確保する取り組みを紹介する声があった。

【沖縄タイムス】2026年4月14日 大学で女性進出進まず 那覇で男女共同参画フォーラム  
沖縄タイムス社 提供

## 「おむすび」で健康づくり

### 県医師会・県栄養士会・沖縄ファミマ開発



連携して開発したおにぎりをPRする、沖縄ファミリーマートの永井雄一取締役商品本部長補佐（右から2人目）、県医師会の田名毅会長（同3人目）、県栄養士会の笠原寛子副会長（同4人目）ら＝20日、県庁記者クラブ

の伝統的な食文化を見つめ直し、長寿県・沖縄を支えてきた「食の知恵」を身近に感じてほしいとの思いを込めた。おにぎりでは主菜、副菜を取ることができ。

3者は約半年かけて議論と試作を重ねてきたという。県医師会の田名毅会長は「多くの皆さまに手に取ってもらい、健康を意識してみようと感じていただければ」とあいさつ。

県栄養士会の笠原寛子副会長は「健康づくりに役立てていただくと共に、健康への意識や沖縄の食文化の魅力が広がっていくことを期待している」と述べた。

沖縄ファミリーマートの永井雄一取締役商品本部長補佐は「自信作。ぜひお試しください」とPRした。

（社会部・常銘悠）

県民に健康をもつと身近に感じてもらうと、県医師会、県栄養士会、沖縄ファミリーマートは「おむすび」2種類を開発した。26日から6月20日まで、県内ファミリーマートで販売する。3者が連携して、商品開発するのは初めて。

「ガバオライス」（税込

み348円）は特に忙しい働き盛り世代を意識し、たんぱく質など日常で不足しがちな栄養素を手軽に摂取してもらおうという工夫。「ゴーヤーと豚肉のソテー」（税込み388円）は沖縄

【沖縄タイムス】2026年5月21日 「おむすび」で健康づくり 県医師会・県栄養士会・沖縄ファミマ開発  
沖縄タイムス社 提供

# 多様な働き方 環境づくりを

## 日本医師会、那覇で男女共同参画フォーラム

性別や世代を超えて、男女ともに活躍できる医療界とは。各都道府県の医師会関係者らが出席し、第20回男女共同参画フォーラム（日本医師会主催）が4日、那覇市のダブルツリーbyヒルトン那覇首里城で開かれた。「世代・ジェンダーをこえてちむどんどん」をメインテーマに多様な働き方について考えた。（慶田城七瀬）



講演する沖縄経済同友会の瀨辺美紀代表幹事

講演する喜納育江琉球大学学長。4日、那覇市のダブルツリーbyヒルトン那覇首里城

### 基調講演

喜納育江・琉球大学学長

### 女性研究者を増やす

瀨辺美紀・沖縄経済同友会代表幹事  
管理職増へ機会創出

基調講演では、琉球大学の喜納育江学長と、沖縄経済同友会の瀨辺美紀代表幹事が登壇し、大学におけるダイバーシティ推進や経済界の女性活躍についての取り組みを共有した。

2012年から大学での男女共同参画に取り組む、在任中に執行役員の女性比率を5割にする目標を掲げ「学生たちに多様なロールモデルを示すことができる」と志願者が増え、組織の成長につながる

### シンポジウム



シンポジウムで自身の働き方や世代間の価値観の違いなどを共有した登壇者たち

## 世代を超えて課題共有

フォーラムでは、県医師会に当たっている」と話した。の女性医師部会の進行により、研修医から院長までの4人が登壇したシンポジウムの「働き方」をテーマに世代間の価値観と課題を共有し意見交換した。

中部徳洲会病院の研修医、志田原睦さんは2人の子育て中で、同期よりも当直勤務を減らしてもらっているが、病休が出て突発的な対応がある場合は、自ら進んで代わりを申し出るようにし「お互いさまの精神だと思いつながら業務を」という古い価値観と、残った。

シンポジウムは2部に分かれ、男性育休の実態と課題をテーマとした議論も交わされ

DE&I（多様性、公平性、包括性）の概念にB（帰属意識）が加わり「個人の成長を満たす」とに加え、働きがいのある職場をどのように創出するかが今後の課題だ」と話した。

県内女性初の代表幹事となった瀨辺氏は、経済分野でも経営者や管理職で女性が少ない現状を報告。女性の正規雇用率が20、30代で急激に低下する「L字カーブ」のグラフを示し「出産や育児に一度入るとパートやアルバイトで働かざるを得ない。男性のように環境を整えて仕事が増え、キャリア収入も増え、キャリアアップも積めるのでは」と話した。

男性医師の意識調査では、男性と女性でキャリア形成に差があり、管理職に就く機会が男性優位との回答が半数を占めた。女性が管理職になりたくない理由では「家庭のことで時間的制約がある」との回答が8割近くあった。自由記述の回答では「医師が足りない」「診療科による負担格差が大きい」「家庭・育児との両立が困難」などの意見が相次いだ。

委員会では、調査に基づき、女性医師の支援継続や、男女ともに働きやすい環境の整備、医師不足などの構造的な問題解決について医師会に答申する予定だ。

## ファミマ×県医師会×栄養士会 開発

# 健康おむすび長寿復活へ

26日から県内ファミリマートで販売される「ガパオライス」(左)と「ゴーヤと豚肉のソフシー」



県医師会、県栄養士会、沖縄ファミリマートの3者が共同プロジェクトを立ち上げ、健康を意識したおむすびを開発した。「ガパオライス」と「ゴーヤと豚肉のソフシー」の2種類を商品化し、26日から期間限定で県内のファミリマートに並ぶ。

新商品をアピールする県医師会の田名毅会長(右から3人目)、県栄養士会の笠原寛子副会長(左から3人目)、沖縄ファミリマートの永井雄一取締役商品本部長補佐(右から2人目)ら20日、県庁記者クラブ



県民生活に身近なコンビニのおむすびに着目し、健康とおいしさの両立を図った。健康長寿復活の一つの契機になることを狙う。

## 26日発売 栄養バランスに配慮

販売は6月29日まで。「ガパオライス」が税込348円、「ソフシー」が同388円。

県医師会の田名毅会長は「全国の医療界も注目している。まず第一弾として、継続していきたい」と意欲を見せた。

20日の発表記者会見で、県栄養士会の笠原寛子副会長は「初めての挑戦で、大変意義深いものになった」と振り返った。沖縄ファミリマートの永井雄一取締役商品本部長補佐は「プロのアドバイスをもらいながら、おいしさという譲れないところをうまく表現できた」とPRした。

プロジェクトは昨年10月ごろに始動。県栄養士会が提案した6種のアイデアを、3者で絞った。沖縄の伝統的な食文化を伝える視点も重視した。一つのおむすびで主食、主菜、副菜の役割を全て備え、忙しい中でも手軽に栄養バランスに配慮できる商品に仕上げた。

【琉球新報】2026年5月21日 健康おむすび長寿復活へ  
琉球新報社 提供

## お知らせ

### 文書映像データ管理システムについて (ご案内)

さて、沖縄県医師会では、会員へ各種通知、事業案内、講演会映像等の配信を行う「文書映像データ管理システム」事業を平成23年4月から開始しております。

また、各種通知等につきましては、希望する会員へ郵送等に併せてメール配信を行っております。

なお、「文書映像データ管理システム」(下記 URL 参照)をご利用いただくにはアカウントとパスワードが必要となっており、また、メール配信を希望する場合は、当システムからお申し込みいただくことにしております。

アカウント・パスワードのご照会並びにご不明な点につきましては、沖縄県医師会事務局(TEL098-888-0087 担当:宮良・國吉)までお電話いただくか、氏名、医療機関名を明記の上 omajimusyo@okinawa.med.or.jp までお問い合わせ下さいませようお願い申し上げます。

#### ○「文書映像データ管理システム」

URL: <https://www.documents.okinawa.med.or.jp/Dshare/header.do?action=login>

※ 当システムは、沖縄県医師会ホームページからもアクセスいただけます。

